

“今週の国際宇宙ステーション (ISS)”

- ☆最初のISS構成要素打上げから1614日経過しました
- ☆第6次長期滞在クルーのISS滞在は147日経過しました

☆ISS動向

第6次長期滞在クルーは地球帰還と第7次長期滞在クルーの到着のために準備作業を開始しています。また、ドナルド・ペティ宇宙飛行士は、微小重力研究グローブボックス (MSG) を使用して粒子や粒子の集合体の磁場に対する反応実験を行いました。

日本時間4月26日(土)には、ソユーズ宇宙船により第7次長期滞在クルーの2名(ユーリ・マレンチェンコ、エドワード・ルー両宇宙飛行士)がISSに向かう予定です。



MSGを使用した実験を行う
ペティ宇宙飛行士

“今週の「きぼう」”

☆「きぼう」船内実験室、筑波宇宙センターを出発

4月22日(火)未明、「きぼう」船内実験室が筑波宇宙センターを出発しました。

宇宙開発事業団職員に見送られながら筑波宇宙センターを出発し、深夜の大通りを2車線をまたぐほどの大型トレーラで、ゆっくりと歩くような速度で進んで行きました。

「きぼう」船内実験室は5月2日(金)には、いよいよ日本を離れ、米国フロリダ州ケネディ宇宙センター (KSC) への航海に旅立ちます。



トレーラで運ばれる船内実験室

☆第19回宇宙ステーション講演会/第16回有人飛行技術シンポジウム開催案内

4月25日(金)筑波宇宙センターにて、(社)日本航空宇宙学会主催による宇宙ステーション講演会と有人飛行技術シンポジウムが開催されます。専門的な内容ですが、ISSや有人宇宙開発の最新情報を入手するチャンスです。なお、参加費が必要となりますので、詳しくは(社)日本航空宇宙学会へお問い合わせいただくか、下記URLをご覧ください。



会場の様子 (2001年度開催)

(社)日本航空宇宙学会 Tel: 03-3501-0463 Fax: 03-3501-0464
<http://www.ctr.mce.uec.ac.jp/%7Ess/>

“トピック”

☆筑波宇宙センター特別公開報告

平成15年度科学技術週間イベントとして、宇宙開発事業団の各地の施設が特別公開されています。

4月19日(土)には暖かい春の陽気の中、筑波宇宙センターへ約3,900人の方にお越しいただきました。

広場ではモデルロケットと水ロケットの打上げデモンストレーションやロケット教室が行われ、NASDAくんロケットや上空で紙飛行機を放出するロケットなど珍しいロケットが打ち上がるたびに歓声が上がりました。

宇宙ステーション関連のイベントは、「きぼう」の試験や宇宙飛行士の訓練に使われる各施設公開、宇宙実験の原理をやさしく解説するコーナー、様々な映像展示の他にもISS体験コーナーや工作コーナーなど参加型イベントも盛りだくさんで、日本の宇宙開発の最先端に触れられる1日でした。

次回の特別公開は、宇宙の日(9月12日)を記念し、9月13日(土)に予定しています。お楽しみに。



宇宙飛行士登場に
子供たちも大喜び



宇宙飛行士に挑戦! ~英語訓練編

2003年10月1日から宇宙開発事業団は独立行政法人宇宙航空研究開発機構に移行します。

問い合わせ先: 宇宙開発事業団 宇宙ステーション・きぼう広報・情報センター TEL: 029-868-3074

ISS・きぼうホームページ <http://jem.tksc.nasda.go.jp/> Eメール kibokoho@nasda.go.jp

※「ISS・きぼうウィークリーニュース」に掲載された記事を転載する場合、本ウィークリーニュースから転載した旨を記述ください。